

## 令和6年度 第2回上下水道審議会要録

令和6年6月12日

野田川わーくぱる

19:00～21:00

### 【出席委員】

小谷副会長・谷田委員・山崎委員・山口委員・井上委員・小室委員・浪江委員  
太田委員・井谷委員・藤本委員

### 【欠席委員】

今田会長・朝倉委員

### 【事務局】

赤西課長・大門主幹・山崎課長補佐・浪江課長補佐

### 【次 第】

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 議事  
    (1) 上下水道料金の改定について  
    (2) その他
4. その他
5. 閉会あいさつ

### 【会議の概要】

1. 開 会
2. 副会長 挨拶  
    ※事務局より会議の成立状況の報告
3. 議 事

副会長 レジメに沿って議事を進めたいと思います。

事務局から第1回当日配布資料（修正版）の説明、事前配布資料の説明、当日配布資料の説明

副会長 資料に関する説明等について、ご意見などがありましたらお願いします。

課長 大きい口径でも水道水を多く使って頂いている事業所が少ないという事情がございます。7  
5ミリのメーターを維持していくためには水道管の方も75ミリを賄えるだけの施設を準備する

必要があるので、現状をご理解いただき、料金のあり方についてお考えていただきたい。

下水道はメーターが無いので、使用水量ごとに間差を考えていく必要があります。本町の料金表では100立米以上までの区分しか無いが、資料では、101～500、501～1000、1001～1500、1500立米以上というような所で区分を設けています。これは、維持管理負担金の内訳として維持管理分と資本費分に分かれています。維持管理費分については使用料で賄うものとされています。資本費分のうち4分の3を京都府が負担し、残り4分の1を町が支払っています。ただし、月1500 m<sup>3</sup>以上、1日に平均して50立米以上使用する事業所は特定事業所という扱いで、この流量分の資本費は京都府は負担しないことになっています。そのため応分の負担を使用者に求めていくとの考えから、一般の生活者と事業として多量に使っている企業とで京都府の費用負担の中身が違う部分がございますので、多く使われているところで新たに料金区分を作らせていただくご提案をさせていただきます。

副会長 質問はありませんでしょうか。

委員 下水道事業の会計について、費用として減価償却が出ていきますが、それが資本として入る部分はどこでしょうか。

課長 建設改良のうち、資本として入ってくる部分は資本的収支の増資部分などに積み上げてきます。減価償却については、未償却から毎年償却していった残高を積み上げていくこととなります。この部分については貸借対照表に出ています。

副会長 特定事業所の関係ですけど与謝野町には何件ありますか。

課長 10件～15件程度になります。営業状況や季節的な要因もあり、毎月件数は変動しています。

副会長 以前はホテルや旅館などでも使われていたと思うが、コロナの関係で少なくなっているんでしょう。

課長 以前はプールなどもありました。

副会長 経営の効率性の関係で類似団体は人口規模と言っていたが、人口だけでいくと地域性も違うので一概に比較できないと思うが、類似団体の方が数字が高くなっている。類似団体との比較となるとそれがどうなのかと思う、比較しようが無いですね。

課長 与謝野町は約2万人ですが、全国の類似団体を見ても名古屋市の横とか福岡市の横とか盛岡市の横というような、大きい都市の横にある行政区域が小さい市町が比較対象になっているようで、効率性の部分での比較は難しいと思います。これは総務省での比較になっていますが、水道協会でも人口と水源の分けがあり、もう少し近いとは思いますが、比較するなら近隣と

の比較の方が地域性ということでは意味があるのかと。あと、料金回収率や経費回収率ですが、水道については100%以下については色々問題だと言われますし、下水については類似団体平均も低い状況であり、あらかじめ基準内繰入金の額も見越したうえでの制度設計となっていると個人的には思っております。いずれにしても必要な費用を料金で賄えないと苦しい経営になってきます。供用開始から30年が経っていますが、これまで施設整備をしてきて、これから維持管理をしていかななくてはならない。下水道は管渠が50年間の法定耐用年数がありますので、それを50年以上使えるように維持していけないといけない状況にあります。大きな工事をしないですむうちに何とか体力を付けていかないといけないという考えでいます。今年度決算を打てば4千6百万現金を残せる見込をもっていますが、だからと言って経費回収率を見ていただければ経営状況がいいという訳ではない思っています。

委員 今のを聞いていると、類似団体というのは都市近郊の2万人の合併してない、企業も多い方だと思うので、そこと比べるとしんどいのかなと思います。

課長 調べたところ、都市近郊で合併せずにやれる町は大きな企業は無いけどベットタウンで人口は増えてる。そこを類団として比較してもなかなか厳しい。100%を目指すにしても70%程度しか無い中で、そこまでの道筋を定めるためにも料金体系の部分では、基本料金の設定について歪があると思っていますので、どこかで変えていかないと13ミリの方は重い負担感があると感じている。そこは、見直したいという思いでございます。下水の方では使用量が多いところに単価のランクが無い部分が歪だと思っています。

委員 京都府からの補助金の無い部分を相応に負担していただかないと、下の方の負担が大きくなるってことですか。

課長 現在そうなっています。補助を削られている水量の部分は、使われている所でご負担いただきたいということで、上のランクを設けさせていただきたい。

委員 一方で産業振興の話があるので、その辺を町全体としてどうお考えなのか分からないので教えて頂ければと思います。

課長 第1回審議会資料で水道料金の基本料金の近隣との比較で、従量料金の比較を載せていますのでご覧いただけたらと思います。75ミリの料金で間差を考えると福知山市や綾部市と近いところまでもっていきたいと思いますが、影響が大きい部分でもありますので、周知期間をしっかり設けて、必要が無いのであればメーター口径を小さくして頂くというような期間を設けていきたいと考えています。

下水の方につきましては101立米以上は207円でございます。宮津市は101立米から500立米が319円で501立米から1500立米までが353円で1501立米以上が388円でございます。京丹後市は162円ですが下水道を整備中のところは安くする傾向にあります。綾部市は336円ですが6000立米以上は安くなっており逓増逓減制と言う体系を

とっています。

#### 4. その他

事務局 水道施設の耐震化率の推移と令和6年度の取り組みについて説明  
下水道施設の耐震化の状況について説明  
次回の資料の作成方針についての説明

#### 5. 副会長 閉会挨拶